

Prière プリエール

2023
SPRING

インタビュー

自分らしく 未来へつなげる 命を守る
私にしかできないメッセージ

— 東日本大震災から12年 —



防災を男女共同参画の視点に立って考えよう！

Content ■ 防災を男女共同参画の視点で考えよう！

■ 松江で活躍する人紹介—山田さおりさん

■ インフォメーション

・ 4月は若年層の性暴力被害予防月間

・ 松江市男女共同参画審議会の公募委員の募集—人権男女共同参画課

防災を男女の視点で考えよう！

東日本大震災から12年。現在も、国内外で地震、風水害など自然災害が発生しています。

7年前の熊本地震では、男女それぞれの異なるニーズに配慮した対応が十分に取られず、避難所の運営や被災者の支援などで問題が浮き彫りとなったようです。これらの問題から、防災分野での男女共同参画がまだまだ進んでいないことが分ります。災害時に起きた問題は、日常の暮らしの中で起きた男女共同参画の課題が現れたものといえます。

非常時だからこそ、誰もが協力し合い、少しでも配慮が行き届く環境づくりが必要です。そのためにも、男女共同参画の視点を取り入れた防災を日頃から考えておくことが大切です。

■過去の災害で浮き彫りとなった問題

「男だから」「女だから」という性別による固定的な役割分担意識

- ・避難所の運営や管理の責任者はほとんどが男性なので施設の管理や支援物資等は女性の声が届きにくい。
- ・避難所での食事担当が女性だけに偏り負担が大きかった。
- ・男性もリーダーとしての責任を負わされ弱音をはけず、ひとりで抱え込んでしまった。
- ・両親とも仕事があるのに、子どもの預け先がないとほとんどの場合、母親が休まねばならなかった。

■私たちにできることは

〈平常時〉

意思決定の場に女性も参画しましょう。男女がともに責任を担い支え合う地域づくりに努めましょう。

地域には、高齢者、障がい者、妊産婦など様々な事情の方がおられます。災害時に必要な多様な人々への配慮と支援について考えることが必要です。

〈災害時〉

授乳室や、男女別のトイレ、更衣室、物干し場などプライバシーに配慮した安全・安心な空間をつくりましょう。

運営の場では特定の人に負担がかからないように、分担したり、責任者を交代制にするなど工夫をすることが大切です。

男女共同参画社会とは、性別に関係なく、誰もが互いにその人権を尊重しつつ責任も分かち合い、その個性と能力を十分に発揮することができる社会のことをいいます。

避難所に来れば安心、安全！そう思っていたけど・・・



地震が起き、家にいては危ないと感じたので家族で避難所に来たけど・・・

下着を洗濯し、干したいけど人に見られたくない。

女性用品を男性が担当してもらえない。

外のトイレは暗くて怖くていけない。

授乳室も女子更衣室もない。

●防災にも女性と男性の両方の視点が必要



女性にとっても、男性にとっても必要なスペースや生活必需品を整えてほしい。



女性のニーズを知るためにも、地域の防災訓練に参加してほしい。

日頃から男女がともに支え合う地域づくりに努めましょう！

プリエール出前講座実施報告

避難所運営ゲーム“HUG”を使った研修会 ～みんなが安心できる避難所運営～

日時：令和5年2月2日(木) 会場：八東公民館 2F
参加者：八東地域人権教育推進協議会
ファシリテーター：男女共同参画センターコーディネーター



参加者アンケートより
〈一部抜粋〉

地域で

- 今まで男女共同参画について考えていなかった。多くの人の意識改革が必要とも考える。
- もっと多くの人が受講された方が良いと思います。

参加人数：15名

日時：令和5年2月19日(日) 会場：労働会館 4F
参加者：連合島根東部地域協議会
ファシリテーター：男女共同参画センターコーディネーター



参加者アンケートより
〈一部抜粋〉

研修で

- 多様な考え方にふれ、大切なことを再認識できました。
- 男女共同参画について理解がまだまだ不足していると感じた。日頃から、言動にも注意し、深めていきたい。

参加人数：37名

避難所運営ゲームHUG

地域の実情に合った避難所運営を疑似体験



避難所運営ゲーム「HUG(ハグ)」は、**H(hinanzyo) U(unei) G(game)**の頭文字です。静岡県危機管理局が開発した避難所運営シュミレーションゲームです。カードを使って、避難所に次々とやってくる被災者や情報などをもとに避難所に見立てた平面図をみながら様々な出来事にどう対応していくかを参加者同士で考えながら体験していきます。

プリエール出前講座

あなたの地域や会に
伺います。

無料

東日本大震災から12年 後世へ ～記憶を伝える、備えを学ぶ

インタビュー フリーアナウンサー
山田 さおりさん

自分らしく 未来へつなげる 命を守る
～私にしかできないメッセージ～

プロフィール

松江ライオンズクラブ所属。毎年クラブが主催する地元高校JRC<青少年赤十字>部生徒に向けた防災講習会の2020年度を担当。東日本大震災から10年が迫る2021年2月に岩手県陸前高田市と松江市をつないだリモート講習会を開催。前年11月に陸前高田市を訪問・取材し被災地からの防災メッセージとして番組を制作。まーぶるTVで放映。現在、来待小学校臨時校務支援員。



気仙中学校校舎内にて



戸羽陸前高田市市長(当時)にインタビュー

◆高校生に伝えたいことは

まず、私自身が、津波の大きさや被害の大きさを身をもって知り、被災された方々のお話を聞き感じたことなど高校生に伝えたいと考えました。震災からの教訓を学び、災害から大切な命を守ることを目的に、東日本大震災を身近に感じてもらい、自分事として考えるきっかけになればと思いました。

何より、苦しい経験を心を込めて話して下さった被災者のメッセージを伝えたい一心で取り組みました。

◆印象に残っていることは

被災地では、小学生が水を運び、高校生もおにぎりを握りました。誰もが助け合っていました。いざという時、力になるのは若い世代です。彼らを防災ボランティアとして育成することに責務を感じました。

「逃げてください！」

被災者の皆さんが必ずおっしゃる言葉です。確かに災害はいつ起こるかわかりません。いつ逃げるのか、どこへ逃げるのか、どこで会うのか、「逃げる」を考えることは今すぐできる防災活動です。みんなが自分の大切な人と今のうちにしっかり話してほしいと思いました。

インタビューでは、10年の時を経て、やっと話せるようになったことや復興の真ただ中で生きる方々の思いや体験など非常に大きく心に残り、皆さんに広く知ってもらいたいと番組にしました。

◆今後の目標を聞かせてください

陸前高田市を訪問したことは、防災・減災を考えるうえで貴重な経験となりました。災害の備えに何ができるのか被災地からの学びをお伝えするのは私の使命だと思っています。

あわせて、陸前高田「ハナミズキのみち」の会代表浅沼ミキ子さんが作られた絵本「ハナミズキのみち」は私の生涯の課題図書として、読み聞かせを通じて東日本大震災を伝えていけたらと考えています。

現在、陸前高田市は「防災・減災を学ぶ街」として新たな街づくりに取り組んでいます。松江市と陸前高田市をつなぎ、災害への学びを深める縁結びができれば幸いです。



© はなだしんじ

奇跡の一本松



気仙中学校時計



リモート陸前高田会場



リモート松江会場



↑陸前高田「ハナミズキのみち」の会代表を務める浅沼ミキ子さん。ハナミズキのみちモニュメント前でインタビュー。



現在、約1.3キロの海側から山側に延びる避難路であるシンボルロードに、目印としてハナミズキを植樹されています。ハナミズキは、津波で長男(当時25歳)を亡くした浅沼ミキ子さんが陸前高田市と協力して2019年から植樹がスタートしました。浅沼さん

の夢の中で息子さんが「避難路がひとめでわかるように、ハナミズキを植えてほしい」と話したのがきっかけです。浅沼さんは、二度と同じ悲しみや苦しみが繰り返されることのないよう、震災の教訓を語り継ぐ活動をされています。

成年年齢引き下げとAV出演被害問題・「JKビジネス」問題

令和4年4月1日から、「民法の一部を改正する法律」が施行され、成年年齢が20歳から18歳に引き下げられました。これにより、18歳になると、親の同意がなくても契約ができるようになりました。性的な行為の撮影をするという認識がないまま契約するなど、被害を受ける問題が起きており注意が必要です。

巧妙になっている10代・20代に対する性暴力

SNSを利用した性被害、酔わせて性的行為を強要、レイプドラッグ、JKビジネス、AV出演被害、痴漢、セクシャルハラスメント等10代・20代に対する性暴力の手口が巧妙になっています。



知っていますか？

～AV出演被害問題～

AV出演被害防止・救済法が成立し、AV出演契約を取り消したり、販売や配信を停止できるようになりました。一人で悩まず、すぐに御相談下さい。

詳しくはこちら

AV出演被害
防止・救済法



相談先はこちら

性犯罪・性暴力被害者のための
ワンストップ支援センター

はやくワンストップ
#8891

被害にあわないために

- ・「アイドルに興味ない？」「簡単にお金をかせげるよ」に注意しましょう。
- ・友人・知人からの勧誘だからといって安心してはいけません。また、友人・知人だからといって「断わりにくい」という理由で、少しでも不安に思うこと、イヤだと思うことに同意しないようにしましょう。
- ・気軽に個人情報や教えたり、身分証明書を渡さないようにしましょう。

「被害にあっているかも。」と思ったら
ひとりで悩まずご相談ください。

おしらせ

募集

松江市男女共同参画審議会委員

松江市が男女共同参画施策を進めるうえで重要な事項について審議・検討を行う「男女共同参画審議会」の委員を募集します。

お問い合わせ

〒690-0061 白潟本町43番地
松江市市民活動センター(スティック)3階
松江市市民部人権男女共同参画課
TEL: 55-5477 Fax: 55-5542
メール: danjosankaku@city.matsue.lg.jp

松江市から審議会の委員募集

募集要項

【任期】 令和5年7月1日～令和7年6月30日(2年間)

【募集人数】 2人 ※審査のうえ、決定

【応募資格】 ①～⑤すべてに該当する人

- ①令和5年5月1日現在で松江市に住民登録が1年以上ある18歳以上の人(高校生は除く)
- ②平日昼間の会議に出席できる人(各年2回程度)
- ③市議会議員・政治団体の役員・市職員でない人
- ④市のほかの審議会などの公募委員でない人
- ⑤過去に松江市男女共同参画審議会の公募委員に就任したことがない人

【その他】

募集期間 令和5年5月1日(月)～令和5年5月31日(水)必着

作文(800字程度)を提出していただきます。作文のテーマなど詳しくは市報5月をご覧ください。左記の問い合わせ先にご連絡ください。



女性相談

TEL

相談電話専用

25-2602

法律相談は
事前面談が
必要です

面接相談・電話相談

受付時間 月・火・木・金
10:00～16:00
祝日・年末年始除く

相談は全て

無料

女性相談員があなたと一緒に考え
ます。なるべくご予約ください。

法律相談 <女性弁護士>要予約

毎月、第2、4木曜日
10:00～12:00 原則30分程度(面談のみ)

カウンセリング <女性公認心理師>要予約

毎月、第1、3火曜日
10:00～14:00 原則60分程度(面談のみ)

一人で悩まないで相談してください。一緒に考えましょう！